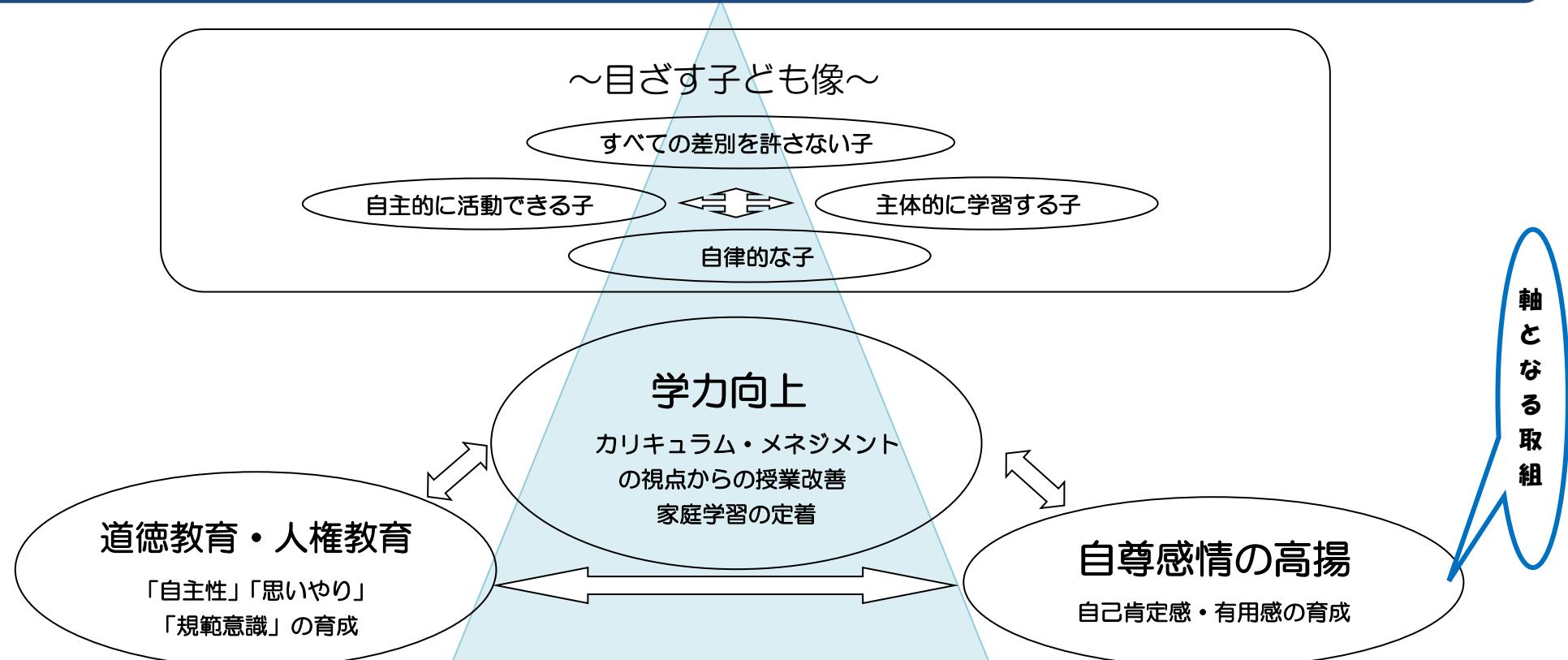


松尾中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図（案）

小中連携スローガン 『学力向上と自尊感情の涵養を目指す松尾中学校区』



9年間の教育目標

- 小中9年間の切れ間のない継続した教育の充実を目指す
- 小中学校の教職員が協働した連携を図り、9年間を見通した系統的で継続的な教育活動を目指す
- 学習や生活における「各発達段階でのステップアップ」を目指した、具体的な小中連携に取り組む
- 学校・家庭・地域が一体となつた教育環境づくりを推進する

各教科

- 基礎基本の定着・課題解決能力をはかる取組
- ・カリキュラムマネジメントの作成
- ・相互の授業参観
- ・学力実態の共有
- ・小中連携英語の推進

道徳・人権教育

- ・授業研究会の実施
- ・研究協議会参加
- ・小中一貫カリキュラムの実施と検討
- ・共通したアンケートの実施と考察

生徒指導

- ・規範意識の育成
- 「松嶽スタンダード」
- あいさつの励行
- 呼名・立腰
- ・授業規範の育成
- 話型

小中合同研修

- ・小中一貫教育部会の全体会
- ・夏季合同研修会

情報交換

- ・学習面・生活面における児童生徒の様子
- ・学級編成資料の作成
- ・小中連絡会
- ・保護者、地域の情報共有
- ・小6の中学体験授業

松尾中学校ブロック小中一貫教育各部会

管理職部会

三校管理職（校長・教頭）：小中連携全般の企画（必要に応じて実施）

教務部会

- 【教務】
- 小中連携主任
 - ・連絡調整
 - ・年間計画作成
 - ☆月1回実施

人権教育部会

- 人権教育主任
- ・人権教育年間計画の交流等
 - ・人権学習参観
- ☆12月実施

研究部会

- 【学力向上・道徳】
- 研究主任・道徳主任
 - ・教科、道徳、総合的な学習の時間および各領域について
 - ☆5月・1月実施

生徒指導部会

- 生徒指導主任
- ・きまりの交流
 - ・配慮を要する児童生徒について
 - ・学校や地域での生活について
 - ☆学期2回実施

健康教育部会

- 養護教員（保健主任・栄養教諭）
- ・食育を含む健康教育全般
 - ・配慮を要する児童生徒について
 - ☆2月実施

育成支援教育部会

- 総合育成支援教育主任
- ・育成学級及びSD等支援を必要とする児童生徒について
 - ☆随時実施

英語教育部会

- 英語主任・担当者
- ・小中英語教育の連携について
 - ・カリキュラムマネジメントの視点からの授業改善
 - ☆随時実施

軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力									
～社会における自らの役割や将来の生き方を考える力、目標を立てて計画的に取り組む態度の育成～									
○お互いの個性を尊重し、他者の長所や感情を理解できる、人とともに社会を生きる力									
○社会規範やマナーなどが守れる、自分を知り律する力									
○計画を立て、解決策を検討する、課題を見つけ解決する力									
○夢や希望をつくりあげる力									
学年または学年区分ごとにめざす姿									
<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの良さを認め、協力できる子 ・自分らしさを大切にする子 ・自分の力で解決しようと努力できる子 ・目標を立てることができる子 					<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場に立って考え方行動できる子 ・ルールやマナーを守ることができる子 ・多様な方法を考え、主体的に解決できる子 ・進んで役割を受けもち、責任を果たそうとする子 				
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）	
取組・活動 ■生き方探究パスポート →									
<松尾小学校の取組> なかよし集会 保幼小交流会					<嵐山東小学校の取組> 遠足（1, 2年生の交流） 縦割り活動				
<松尾中学校の取組> 入学式における生徒呼名 生徒の発達段階（①教師が生徒の ②仲間同士の ③自分で自分の）に応じた「いいところ探し」を、 学校体制で取り組む ボランティア活動の募集（校内・地域）									

＜中学校ブロックとしての取組＞

○研究部会

【学力向上・学力分析・授業改善】

- ・全国学力学習状況調査分析 学習支援プログラムの分析 松尾中学校区児童・生徒の学力課題の共有
 - ・授業における「本時の目標（ねらい めあて）」の明確化とその「まとめと振り返り」の徹底及び「話型」の統一

【道德部会】(三校道德教育主任)

- ・小中一貫道徳カリキュラムの編成・実施・検証・改善
 - ・道徳科化における評価の合同研究 年間2回の小中合同道徳授業研修会・研究協議の実施

【英語教育部会】

- ・『豊かな学びリーディングスクール』『小中一貫教育推進事業』
「カリキュラムマネジメントの視点からの授業改善」の合同研究

○人權教育部會

- ・人権教育において小中での指導内容に系統性を持たせるとともに、カリキュラムマネジメントの検討
 - ・小学校同和単元授業参観（年間4回）、中学校人権学習授業参観（年間2回） 三校主任会での研究協議
 - ・合同夏季研修会の企画 小中連携スローガン（テーマ）「学力向上と自尊感情の涵養をめざす松尾中学校区」
 - カリキュラムマネジメントの視点からの①「授業改善・学力向上」②「道徳教育」【研究部会】
 - ③「人権教育における系統性・接続性」【人権教育部会】
 - 自尊感情の涵養をめざした④「生徒指導」【生徒指導部会】

○生徒指導部会

- ・年間を通した三校での挨拶運動の実施（統一したポスター【松嵐スタンダード】）を校内・地域に掲示
 - ・自己存在感・自己肯定感の育成：毎朝学活時の呼名
 - ・学習規律：始業時・終業時のあいさつ、立腰（学習時の姿勢 腰骨を立てて背筋を伸ばす）
 - ・生徒会の企画・運営による「オープンスクール」（中学校授業体験・部活動紹介）

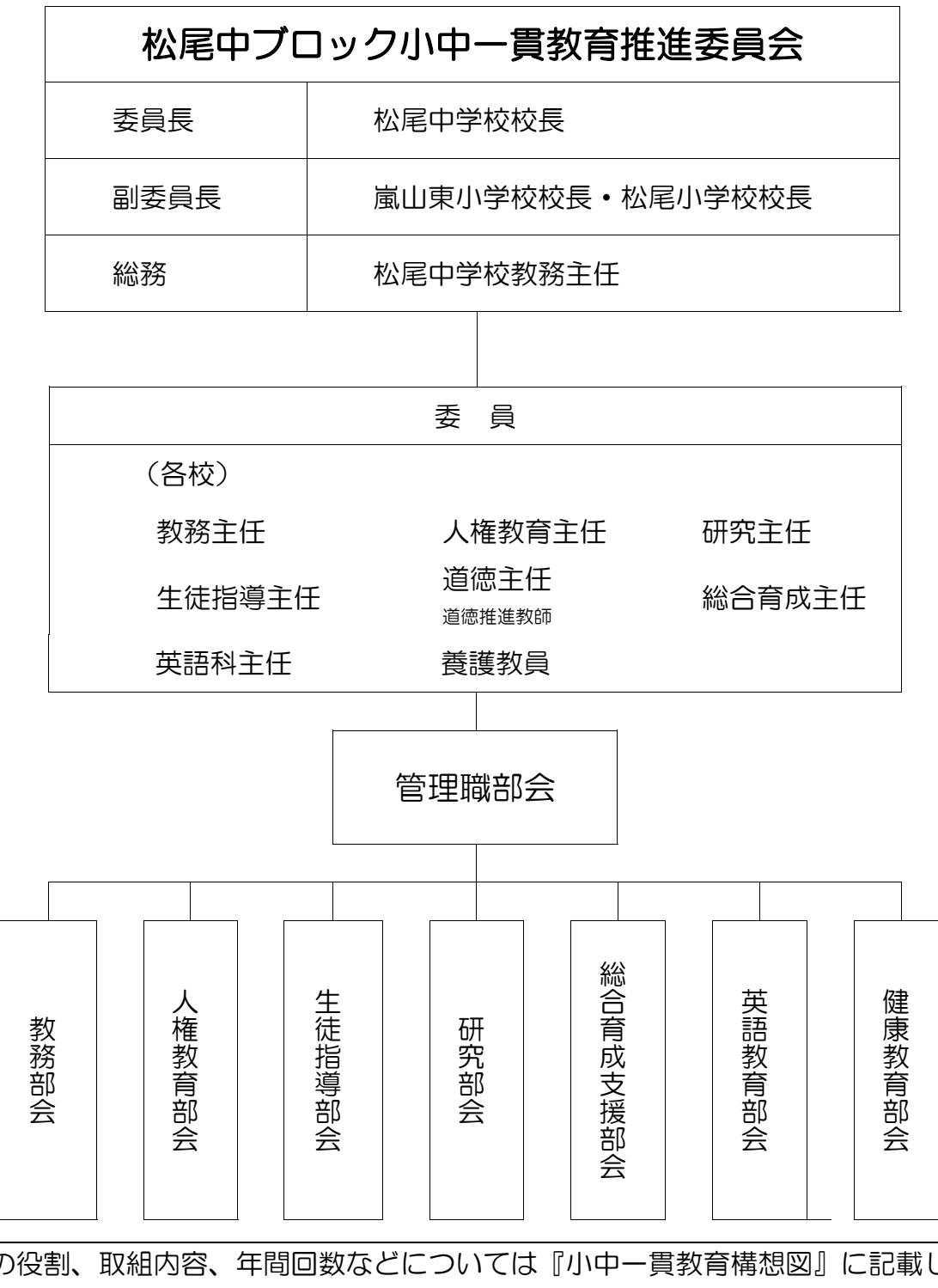
○学校運営協議会・地域生徒指導連絡協議会

- ・駅伝大会などの取組により、地域、保護者、児童・生徒との交流を図り、社会体験を広げる取組
 - ・ボランティア活動の充実 地域・社会に貢献し、役に立つことにより自尊感情の涵養を図る

学びの約束・ルール

小中一貫教育推進体制

松尾中 小中一貫教育推進組織図



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

- ・学校だよりとHPにおいて、中学校ブロックが9年間を通して育てたい力を掲載し、家庭や地域の理解と協力を呼びかける。
- ・小学校の学校運営協議会と中学校の学校運営協議会において、小中連携した子どもたちに育てたい力を周知し、理解と協力を求めると共に、地域やPTAが連携できることを模索する。
- ・各校の学校評価アンケートにおいて統一したアンケート項目を再考する。